

令和7年度 事務事業評価シート（１）

[令和6年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	タクシー利用料金助成				事業番号	011-155	
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害支援	課	

I. 基本情報

事業の位置付け									
1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～		施策	(5) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現	
			有	取組の方向性	③障害者の社会参加の促進				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(10)人や国の不平等をなくそう		ターゲット	10.2	
			有	取組	障害者児及びその家族に対する支援				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	
2	関連計画			第5次堺市障害者計画・第7期堺市障害福祉計画・第3期堺市障害児福祉計画					
3	事業開始年度			平成 5 年度		点検対象年度		令和 7 年度	
4	実施根拠			堺市重度障害者福祉タクシー利用料金助成要綱					
事業の概要									
5	事業の実施主体			本庁、各区					
6	事業の対象			○ 視覚・肢体（下肢、体幹）・内部障害に該当する身体障害者手帳1・2級所持者（約10,800人） ○ 療育手帳A所持者（約3,600人）				対象数	単位
								—	—
7	事業の目的			タクシーの利用料金の一部助成をすることにより、重度障害者児の社会参加を促進する。					
8	事業内容			重度障害者児が利用するタクシーの障害者割引適用後の運賃の一部を助成する。 ・本市から対象者へタクシー利用券を交付（年間最大26枚） ・対象者が利用券を使用してタクシーに乗車する場合は、身体障害者手帳又は療育手帳を提示し、1乗車につき1枚の利用券をタクシーの乗務員に提出 ・一般タクシーの場合は500円、福祉タクシーの場合は1,000円をタクシー会社へ助成 ※R6タクシー利用券交付者数7,440人					
	※国・府の基準より上回って実施した内容								
9	主な支出先			事業実施協力事業者（タクシー会社）					
10	公民連携・協働事業								

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定							
11	定性的な成果目標						
	重度障害者児の移動の利便性を向上させる						
	当該目標を設定した理由	移動の利便性を向上させることで、重度障害者児の社会参加の促進に繋がるため。					
	目標に対する実績	タクシーの利用料金の一部助成をすることにより、重度障害者児の移動の利便性向上に寄与した。					
12	活動指標	単位		実績		目標	
	利用件数	件	目標値	—	—	—	
			実績値	52,206	46,413		
			達成率	—	—		
	当該指標を選定した理由	助成制度の利用により、重度障害者児の移動の利便性向上に寄与と考えられるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	利用件数は、タクシーチケットを交付された重度障害者児の個別事情に依るため、目標値は設定しない。					

令和7年度 事務事業評価シート（２）

事務事業名	タクシー利用料金助成	事業番号	011-155
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト					※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。				(単位：千円)				
13	財源内訳	項 目	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度				
			決算		決算		当初予算	決算	当初予算				
	事業費 (a)		37,624		35,997		41,471	32,543	37,589				
	国支出金		0		0		0	0	0				
	府支出金		0		0		0	0	0				
	市債		0		0		0	0	0				
	その他 (郵送申請徴収金)		0		0		38	5	23				
	受益者負担金(使用料、手数料等)		0		0		0	0	0				
	一般財源		37,624		35,997		41,433	32,538	37,566				
14	人件費 (b)		1,890		1,880		1,870	1,870	1,980				
15	年間経費 (c)=(a)+(b)		39,514		37,877		43,341	34,413	39,569				
事業費の内訳											(単位：千円)		
16	事業費内訳	項 目	年度		事業費		うち一般財源	項 目	年度		事業費		うち一般財源
		重度障害者タクシー利用料金助成		R6	決算	29,619	29,619			R6	決算		
				R7	予算	32,895	32,895		R7	予算			
		タクシーチケット等送付郵送料		R6	決算	2,094	2,089			R6	決算		
				R7	予算	3,490	3,467		R7	予算			
		タクシーチケット関連印刷費		R6	決算	634	634			R6	決算		
				R7	予算	978	978		R7	予算			
		重度障害者タクシー利用料金助成手数料		R6	決算	164	164			R6	決算		
				R7	予算	175	175		R7	予算			
		消耗品費		R6	決算	32	32			R6	決算		
				R7	予算	51	51		R7	予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費					
17		区 分	単位	令和5年度	令和6年度
	①	利用件数	件	52,206	46,413
	②	上記①にかかる年間経費	千円	37,877	34,413
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	726	742
	算出についての説明等				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見	
18	令和5年度より、従来の初乗り料金の9割助成から定額500円助成に変更し、福祉タクシー利用者には定額1,000円助成に見直した。また、令和6年度利用分から継続申請による交付決定を行うことで、必要としている方に適切に利用券を交付することができた。単位当たり経費は上がっているが、これは福祉タクシー利用者への助成見直しによる効果であり、車いすやストレッチャーのままのタクシー乗車（福祉タクシー利用）が必要な重度障害者児の外出の機会を支援し社会参加の促進を図ることができることを考慮すると、当事業は費用対効果に見合ったものとする。
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）	
19	本事業はタクシー利用料金の一部を助成することにより、重度障害者児の外出の機会を支援する事業であり、障害者の社会参加の促進に寄与している。